

教材・支援機器活用実践事例【ICT】

生徒の興味に合わせた対応ができる ICT 活用 「Scratch を使った効果音リスト」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・高等部 3 年
	障がい名等	肢体不自由
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチを動かすと好きな音が流れることがわかる。 ・意思の疎通のための発話は難しい。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	国語
	単元(題材)名	単元名「絵本の内容を感じよう」
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本に出てくる音を生徒がスイッチ操作で鳴らし、自分で表現できるようにした。
教材・教具支援機器について	教材・教具 支援機器	<ul style="list-style-type: none"> ・「Scratch」 https://scratch.mit.edu/ 画像をクリックすると音が再生されるプログラムをつくる。  <ul style="list-style-type: none"> ・ P C ・ マウス (外部スイッチで左クリック操作ができるように改造) ・ 生徒の可動域に応じたスイッチ
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 絵本の読み聞かせの中で、音やリズムに触れたり、自分なりの表現をしたりすることができる。 <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 画像をクリックすると画像に応じた音が再生されるようにプログラムして、操作をわかりやすくした。 ・ 絵本ごとに画像を一覧にして、教師が必要な音を瞬時に選択できるようにした。
	材料・作成方法等	P C、Scratch
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> ・ 音を出す場面で教師が促すとスイッチに手を伸ばし、何度もスイッチを動かして音を出すことができた。